



不妊手術（避妊・去勢）について

Q. 不妊手術は必要？

A. 手術をすることで防げる病気や問題行動があります。特に雌性生殖系疾患は、症状が認められた時には緊急の外科治療を必要とする場合も多く、高齢になってからの手術はリスクも大きくなります。将来的に発症が考えられる疾患を予防するために、不妊手術は有用と考えられます。メリット、デメリットを理解し、ご家族皆様が納得された上で手術を選択されることをお勧めします。

メリットとデメリット

☆メリット☆

- ・望まない妊娠の回避
- ・ホルモン関連の問題行動（スプレー、けんか、攻撃性など）の軽減
- ・生殖器関連の疾患の予防、リスクの低減
 - （♀）子宮内膜炎、子宮腺癌、子宮水腫、卵巣嚢胞、乳腺腫瘍など
 - ※1才までに手術を行うことで乳腺腫瘍の発生率が下がると言われています
 - （♂）精巣腫瘍、鼠径ヘルニアなど

★デメリット★

- ・全身麻酔をかける上でリスクを伴う
- ・手術、入院のストレス
- ・太りやすくなる

Q. 手術の費用は？

A. ♂：去勢手術料 ¥26,000+術前検査（血液検査・レントゲン）¥10,100 = ¥36,100
 ♀：避妊手術料 ¥35,000+術前検査（血液検査・レントゲン）¥10,100 = ¥45,100
 ※エリザベスカラーが必要な場合は、カラー代¥1,200を頂きます。
 また病巣が見つかった場合や、追加検査が必要な場合など、別途費用が発生することがあります。

Q. どのくらい入院が必要？

A. 基本的には1泊入院（手術日の午前中に入院、翌日退院）です。
 去勢手術は日帰り退院の場合もございます。入院中にご面会も可能です。

Q. 適正時期は？

A. 一般的に、生後半年から実施可能です。品種や体格、性別によって推奨時期が変わりますのでご相談ください。

～手術の流れ～

事前の診察で、手術についての詳しい説明、日程の相談をします。



手術当日、体調チェックをしてお預かりし、血液検査、胸部レントゲン検査を行います。
 入院、手術の同意書にご署名を頂きます。



注射で麻酔薬、鎮痛薬を投与し、吸入マスクまたは気管チューブを挿管して麻酔を維持します。薬剤投与や点滴のため、血管確保をします。

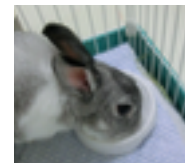
手術部位の毛刈り、消毒をし、いよいよ手術です。
 避妊手術♀では卵巣・子宮を摘出、去勢手術♂では精巣を摘出します。麻酔中は心拍数や呼吸などを常にモニタリングします。



手術が終了し、麻酔から覚めたら入院室へ。
 その日からいつも通りごはんも食べられます。



翌日（場合によっては当日）、退院です。
 手術の様子、術後のケアについてお伝えします。
 自宅では処方された内服薬を飲ませてあげてください。



1週間程度で抜糸をします。



1ヶ月後に定期検診、体重測定をおすすめします。
 手術後はペレットの量を調節して、肥満を予防しましょう。